

令和7年度

1月 中学校給食献立表(1月9日~1月23日)

川西市中学校給食センター ※食材の入荷状況により、献立内容を変更することがあります

令和7年度 1月 中学校給食献立表(1月26日~1月30日)

川西市中学校給食センター　※食材の入荷状況により、献立内容を変更することがあります。

26日 「鯨肉の竜田揚げ」と学校給食の歴史

かつて昭和30年代から40年代にかけて、栄養価が高く安価だった鯨肉は全国の給食で広く使われました。特に竜田揚げは人気の献立で、子どもたちの成長を支える大切な献立でした。

27日 戦後の知恵を味わう「すいとん」

戦後の食糧難の時代、栄養を補う工夫として広まりました。小麦粉を練って団子にし、野菜と煮込むことで、少ない材料でもお腹を満たすことができました。

28日 29日 世界の味から学ぶ給食週間

世界の料理を給食に取り入れることで、異文化を身近に感じ、食の多様性を学ぶことができます。給食は栄養を満たすだけでなく、世界の文化を理解する入り口になります。

30日 給食で味わう和食の力

「王食・王菜・副菜・汁物」をそろえた和食は、栄養バランスが整いややすい食事です。バランスが整います。ごはん+エネルギーを、魚や肉でたんぱく質を、野菜や海藻でビタミンやミネラルをとることができます。また和食は、日本の食文化や季節を感じられる食事です。



全國學校給食週間



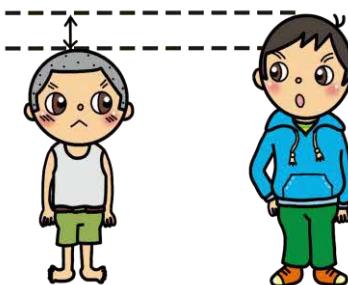
1月24日から30日までは全国学校給食週間です。

学校給食の意義や役割についての理解と関心を深め、学校給食のより一層の充実と発展を図ることを目的に行われています。

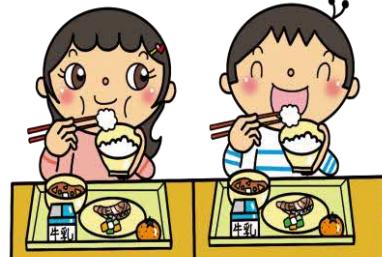
昭和20年(1945)年、戦争が終ったばかりの日本では食料が不足し、栄養不足の子どもたちがたくさんいました。



そのころの小学校6年生の体は、今の小学4年生くらいの体格だったといいます。



この日本の様子を見て、外国から食べ物の援助がたくさん送られてきました。こうして昭和21(1946)年12月24日、学校給食が再び始まりました。



12月24日は学校が冬休みの学校もあり、1ヶ月遅らせた1月24日から「全国学校給食週間」が行われます。給食に感謝し、その意義と役割を再確認する1週間です。